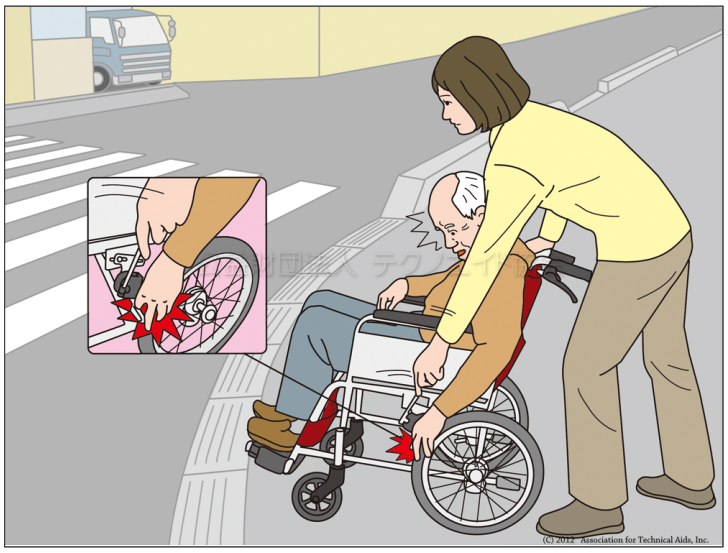
Case：12

ブレーキとタイヤの間に指を入れてしまい、ケガをしそうになる

場面の説明

利用者の指が、ブレーキとタイヤの間に入り込んでいたが、介助者が気づかずブレーキをかけた



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ブレーキには指を挟みやすい箇所が数箇所あり、危険な場所です。利用者の腕が肘掛けから落ちると指を挟みやすくなりますので、まずは腕が落ちないような工夫が必要です。また、介助者もブレーキをかけるときにはしっかりと目視をするなど注意しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ブレーキをかける際に、モノなどを挟んでいないか確認しない
モノ：ブレーキの根元に指が入る隙間がある
モノ：注意表示がされていない

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.